

「町田市観光まちづくり基本方針（素案）」

市民意見募集実施結果

2017年5月

町田市

「町田市観光まちづくり基本方針（素案）」に対する 市民意見募集の結果について

「観光」を活用して、人の交流を増やし、地域活性化・経済活性化を図るために、「町田市観光まちづくり基本方針（素案）」を作成しました。その内容をお知らせするとともに、よりよい基本方針とするため広く市民の皆様のご意見を募集しました。貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

1. 募集期間

2016年12月16日（金）から2017年1月16日（月）まで

2. 意見の募集方法

○町田市ホームページに資料を掲載

○広報まちだ(2016年12月15日号)に概要を掲載

○以下の窓口にて資料を配布

産業観光課（市庁舎9階）、市政情報課・広聴課（市庁舎1階）、男女平等推進センター（町田市民フォーラム3階）、生涯学習センター、各市民センター、木曾山崎・玉川学園の各コミュニティセンター、町田・鶴川・南町田の各駅前連絡所、各市立図書館、町田市民文学館、小野路宿里山交流館 等

4. 寄せられたご意見

19名の方から58件のご意見をいただきました。寄せられたご意見の要旨とそれに対する市の考え方は次のとおりです。

市民意見募集結果 19名 58件

No.	ご意見	市の考え方
1. 基本方針策定の考え方		
1	基本方針の策定について評価する。	将来像の実現に向けて、市民の皆様と共通認識を持って、観光まちづくりを推進していきます。
2	住民も観光客も「町田のまち」に何を求めているか焦点をあわせたい。	
3	基本方針策定の考え方が分かりにくい。	ご意見として承り、基本方針策定にあたっての視点を皆様にご理解していただけるよう、努めてまいります。
4	取り組みの担い手として「事業者」を記載してはどうか。	事業者も観光まちづくりの重要な担い手であると認識しております。本方針では、市民の定義の中に事業者を含めています。
5	地域資源と地域素材の使い方が曖昧である。	「地域素材」と「地域資源」の定義を示すとともに、当該使用箇所の整理をいたしました。
2. 町田市の「観光」を取り巻く現状と目指すべき方向性		
6	現状認識、課題認識に少しずれがある。	ご意見として承り、更なる課題の洗い出しに努めてまいります。
7	項目出しが甘い。課題を深めないと達成目標が軽薄なものになる。	
8	現状に「外国人対応ができていない」を追加するべき。	
9	課題に「観光インフラ整備の充実」を追加するべき。(ハード・ソフト含め)	
10	目指すべき方向性に「観光インフラ整備の充実」を反映した表現とするべき。	
11	地域素材は魅力が認識されていないものであるため、来訪者がその魅力を理解するためには、地域素材の魅力の発信等が必要となるのではないかと。	方針3に基づき、地域素材が持つ魅力を多くの人に発信していきます。
12	本方針は、有名なものからあまり知られていないものまで、幅広く町田の観光資源が挙げられている。町田の観光資源を知ってもらうきっかけになるものである。	
13	2. 町田市の「観光」を取り巻く現状や町田の主な地域資源であり商業が盛んであることに触れていない。「買い物を楽しむ」という部分も観光資源と捉え目指すべき方向性の検討材料に含めてはどうか。	
		商業は町田市の地域資源であると認識しております。ご意見として承り、今後事業を進めていく上で参考にさせていただきます。

No.	ご意見	市の考え方
3. 町田市の「観光まちづくり」の将来像		
14	「将来像」ではなく「理念」が良い。	市民と行政が協働で観光まちづくりを進めるにあたってのスローガンを「将来像」として示す必要があると考えています。
15	「交流」はいらぬのでは。	近年、観光に対するニーズが多様化し、「その地域ならではの体験や地域の人との交流を楽しむ観光」へと志向が広がっております。また、まちの活力を維持・向上させるためにも「交流」は重要であると考えております。
4. 町田市の「観光まちづくり」の将来像を実現するために		
方針1 町田市ならではの地域素材の魅力の洗い出し磨き上げ		
16	観光資源の発掘に対して、市はどの程度必要性を感じているのか。また、観光資源のPRのため名所・旧跡・遺跡など場所の案内板・説明版の設置に向け予算化を図っていくべき。	ご意見として承り、今後事業を進めていく上で参考にさせていただきます。
17	町田市には、都内有数の里山が残っており、活用される価値は十分にある。里山を磨き上げることが一つのポイントではないかと思う。	「町田市北部丘陵活性化計画」の中でも里山の目標像や基本方針を掲げており、里山環境の再生保全及び活用に努めてまいります。
18	小野路周辺、野津田周辺の自然が非常に魅力的である。	
19	文化財の豊富さは魅力的である。	「町田市文化財総合活用プラン」に基づき文化財の更なる魅力の向上に努めてまいります。
20	考古資料室の収蔵品のように、市民よりも市外の方がより魅力を感じているものもある。地域素材、地域資源の特性を把握し、施策を展開して欲しい。	ご意見として承り、今後の事業を進める上で参考にさせていただきます。

No.	ご意見	市の考え方
方針2 観光まちづくりの担い手と態勢（体制）づくり		
21	態勢は、「限られた人が対象」のものとなっているように思われる。より身近な、高齢者や子供達も参加できるものを、発展させていくことも、底辺を広げることで効果が上がるのではないかと。	幅広い世代が「観光まちづくり」に参画できるきっかけづくりが重要と考えております。ご意見として承り、今後の事業を進める上で参考にさせていただきます。
22	幅広い世代が、観光まちづくりの担い手として参加できるよう、態勢づくりを行って欲しい。	
23	観光分野に携わる人材の発掘及び育成、資金の確保が重要である。	
24	地元の人が自ら地域の魅力を知ることが重要である。まずは、ボランティア等、小さなところから人材の発掘につなげてはどうか。	
25	地域素材をいかにつなげ、PRし、組織化し、一体感をもって継続させるか考えるべき。	
方針3 地域素材が持つ魅力の伝達		
26	方針3の事業として、以下の取り組みをしてはどうか。 （1）外部展示会への積極的参加 （2）マラソン大会の検討 （3）市の鳥「カワセミ」を印象づける （4）小田急線JR横浜線「町田駅」の電車発車メロディーの検討 （5）交通の流れに検討を加える	ご意見として承り、今後事業を進めていく上で参考にさせていただきます。
27	ターゲットごとに、地域素材や地域資源の魅力をより効果的に伝達する手法を検討し、特に影響力の強いSNSについては、積極的活用を図ってほしい。	
28	情報発信は、関係する団体が同じ意識の元、戦略を理解し、各組織が得意な形で取り組めればなおよい。	
29	町田市は魅力的な観光資源があるのに市民に上手く伝わっていないため、広報の手法を工夫すべきである。	
30	町田の地域素材が持つ魅力を多くの人に伝える手段として外国語による情報発信がある。使用言語については、よく検討した上で情報発信を行って欲しい。	
31	各地域素材の中から、重点的に磨き上げる素材を絞った上で、地域素材が持つ魅力の伝達を行うべき。	

No.	ご意見	市の考え方
その他方針に関するご意見		
32	方針1と3は「町田市ならではの地域素材の洗い出し、磨き上げ、伝達」とまとめるべき。	ご意見として承り、今後事業を進めていく上で参考にさせていただきます。
33	「だれもが安全・安心に行ける受入環境の充実」も重要ではないか。	
5. 将来像の達成目標		
34	短期・中期・長期の目標を明確にするべき。	将来像の実現に向けた短期・中期・長期の達成目標を明確にするため、数値目標を設定します。
6. その他		
(観光プログラム等)		
35	バスで巡る町田のツアー等を企画してはどうか。(歴史自然ツアー町田駅発)	現在、町田市観光コンベンション協会主催のガイドウォークツアーを定期的を実施しております。 ご意見として承り、今後事業を進めていく上で参考にさせていただきます。
36	ガイド付ウォーク大会を開催してはどうか。	
37	市で、小さな美術館から大きな美術館(版画美術館)までのツアーを企画してはどうか。	
38	恩田川のさくらツアーを開催してはどうか。	
39	外国人向け歴史ガイドツアーを開催してはどうか。	
40	環境に関する取り組みを紹介するようなツアーを行ってはどうか。	
41	観光スポットを巡るバスを運行してはどうか。	ご意見として承り、今後事業を進めていく上で参考にさせていただきます。
42	外国人留学生やボランティアの活用(通訳翻訳)をしてはどうか。	
43	外国人向け日本語教室を開催してはどうか。	
44	義務教育の中でまちへの愛着誇りを持てる授業や課外行事を実施してはどうか。	
45	町田市観光コンベンション協会と市民大学や団体等が連携し、観光プログラムを開発してはどうか。	
46	「フットパス」の訴求とブランディングを重点的に取り組むべき。	
(ハード整備)		
47	町田駅周辺の繁華街は、案内図もわかりづらく整備が進んでいるとはいえない。観光地としては整備することが必要である。	ご意見として承り、今後事業を進めていく上で参考にさせていただきます。
48	教育の場として「触れられる博物館」を開設してはどうか。	

No.	ご意見	市の考え方
(組織)		
49	新組織の設置や人材の配置を検討してはどうか。	ご意見として承り、今後事業を進めていく上で参考にさせていただきます。
50	町田市国際観光部門を設置してはどうか。	
51	教育委員会と経済観光部が力を合わせ、地域観光資源の発掘プロジェクトを立ち上げてはどうか。	
(広域連携)		
52	歴史的・文化的に繋がりが強い相模原市と広域的な連携をしてはどうか。	近隣自治体との連携は重要であると考えています。ご意見として承り、今後事業を進めていく上で参考にさせていただきます。
53	多摩市、相模原市と連携を強化してはどうか。	
54	八王子市、多摩市、相模原市と連携を強化してはどうか。	
55	多摩26市の市役所や博物館が連携し、相互にPRを行うのはどうか。	
(PR)		
56	中心市街地のデパートの催事場等で物産展を定期的を開催してはどうか。	ご意見として承り、今後事業を進めていく上で参考にさせていただきます。
57	転入者を増やすため、地域の良さをPRする取り組みをしてはどうか。	
(観光まちづくり基本方針策定検討委員会)		
58	観光は多分野に渡るため、検討委員は幅広く募った方が良い。	「町田市観光まちづくり基本方針(素案)」の作成にあたっては、学識経験者及び観光分野の関係者等で構成した「町田市観光まちづくり基本方針策定検討委員会」を設置し、検討を進めてまいりました。 今後も多くの方のご意見を伺いながら、観光まちづくりを推進していきます。